

# 地方通信



## 馬も通れぬ國道も

### 産業道路として更生

樵夫しか通らぬ國道として改修を要望されてゐた姫路—鳥取間國道二十號線因幡街道に内務省大阪土木出張所が大手術を加へ、時局下國防産業の幹線として更生することになつた。中國山脈中の高峰水ノ山(標高八百九十一米)の山腹を羊腸として上り下りする兩縣境、戸倉峠道路千六百米は千丈の斷崖を見下して最大八分一勾配の上に屈曲多く降雨ごとに崖崩れがあり、國道でありながら車馬の通行殆ど不可能、平常は樵夫道としてしか利用してゐなかつたが山陰、山陽兩道をつなぐ幹線として最近とみ

に重要性を加へ來つたので、山頂羊腸部千六百米をトンネルで打抜く計畫を樹て、關係府縣當局の協力で實地測量を行つてゐたところ、最難關部に四百三十五米のトンネルをうがちトラツクの通行を自由にし得る確信を得たので、愈よ明十七年度豫算に六十萬圓を要求することになつたもので、トンネル完成の暁は中國交通に盡すところ大なるものがある。

### 國道改良工事の着手

内務省岩國國道改良事務所では岩國市玖珂郡藤河村間延長五千三百米の國道鋪裝工事の地鎮祭を七月十二日舉行した。岩國市長代理、藤河村長、津崎岩國土木出張所長、

市議等の來賓參列、橋川所長の鐵入式があつた。橋川所長の挨拶あつて嚴かな式を閉ぢ簡易な宴會を催した。同改良工事は軍都並工業都として躍進途上の岩國市から、西北に隣接の錦川沿の國道五三〇〇米に簡易鋪裝を行ふもので、工費十五萬圓を投じ二、三〇〇米は普通コンクリートの直營、三、〇〇〇米は請負によるトベツカ式鋪裝をなし直ちに着工、明春三月末竣工の豫定で、完成の上は眞に近代的道路となり産業方面に勿論衛生保健にも裨益する所多く期待されてゐる。

### 帝都交通機關も

#### 是れて整理?

帝都交通調整の第一段階としてさる七月四日帝都高速度交通管團の成立を見たが、今回鐵道、内務兩省ではこれが第二段階として昭和十三年制定にかゝる陸上交通事業調整法第二條に基き、舊市内に於ける地下高速度交通事業の帝都高速度交通管團への

讓渡ならびに舊市内路面交通事業の東京市への統合の各命令を七月十五日附で發した。右の命令により帝都高速度交通營團へ讓渡すべきものは

東京地下鐵道の既成線、未成線

一五・二籽

東京高速鐵道の既成線、未成線

一六・九籽

京濱地下鐵道の未成線

五〇・九籽

合計

八八・二籽

東京市に統合すべきものは

青バス

一二七・〇籽

黄バス

二二・九籽

城東電車

一一・二籽

王子電車

一六・五籽

王子電軌バス

二九・六籽

城東乗合

九・〇籽

西武新宿線(地下鐵の委託經營

七・五籽

を東京市に移す)

二二三・七籽

ならびに東横バス、京王バス、葛飾バスの各一部約四七・七キロ等である。しかして本命令にもとづき關係事業者においては一定の期限内(營團關係は一箇月以内、東京市關係は三ヶ月以内)に協議をなして認可を申請し、認可があればこれが實施をみる(もし協議が調はぬ場合は主務省が裁定する)が、これが實施により帝都高速度交通營團は開業線一四・二キロ、未開業線七四・〇キロを有し、東京市は三五・二キロの路面電車と二三・六二キロのバス路線を合して一元的運営をなすこととなり、舊市内の交通調整は一應終了するわけである。なほ統合後東京市の有する營業路面電車は一七・八籽で、バスは四二八・二キロとなるはず。

## 朝鮮京城間幹線道路の

### 鋪裝工事

京城府幹線交通路の橋といはれる東大門—安岩町間の鋪裝道路が豫算百五十萬圓

でいよゝ出來上ることとなつた。京城府

土木課では年とともに膨脹の一路をたどる

府内人口と輸送貨物量に對應して、府内を

貫通する幹線道路の擴張完成を急ぎつゝあ

つたが、最後の懸案として永年幾多の話題

を生みながら今日まで放置されてゐた東大

門—安岩町間(東大門から府廳東部出張

所前まで)約一キロ半に亙る幅員二十米、

現在片側運行の道路を三十五米に擴張し、

車道、歩道を備へた近代道路に改良工事を

する事となり、去る六月上旬から用地買収

を進めてゐるが十一月末迄には終了の豫定

で、買収終了と同時に資材不足の萬難を排

して直ちに全面的土木工事に掛る事となつ

た。これが完成の時は永登浦—清涼里間

一萬七千六百米、雁浦—清涼里間一萬一

千米的兩幹線道路はここに一まづ完了、府

内を貫通する大動脈道路が出來上る譯で、

頻發された同區の交通禍もこれで一先づ解

消、輸送力増強、市街美化と相まつて京城

に都市文化施設の福音がもたらされる。